

「ガス料金のしくみ」

- 基本料金

＝容器、調整器、マイコンメーター等供給設備費、法令点検費、検針費、集金費等に充当され毎月一定金額となります。

- 従量料金

＝ガス原料費、ガス充填費、容器配送費、一般販売経費（人件費、容器管理費等）に充当されるものとします。

※なお、ガス漏れ警報器及びCO警報器、集中監視システム等をご利用の場合は、別途安全確保設備利用料がかかる場合があります。

※従量料金単価は原料価格の変動により変わる場合があります。

- 設備利用料

＝当社が所有する消費配管および、消費機器等の利用料を指します。設備利用料がない場合、0円と表記します。

- ガスメーターによる販売の場合、お支払い頂く毎月のLPガス料金は次の式により算出されます。

LPガス料金＝基本料金＋従量料金（LPガス使用量×従量単価）＋設備利用料

「原料調整制度」

原料調整制度の説明

「原料調整制度とは」

- LPガス原料輸入価格の変動等に応じて、速やかに従量料金単価に反映させて毎月調整する制度です。
- 基本料金や設備利用料金等には影響致しません。
- 原料費調整額は、毎月の検針伝票に次のように記載されます。
- 【ガス料金】 ○○○○円 【原料費調整額】 ± ○○○円

「原料費の調整方法」

- 基準平均原料価格 = 87,230円/トシ (平成25年4月～平成26年3月平均)
- 平均原料価格 = {(前々月CP+前月CP)÷2×70%+(前々月MB+105)×30%}×前々月TTS

※CP価格とは、サウジアラビアのプロパン輸出価格を指し、日本経済新聞や財務省ホームページに毎月掲載されます。

※MB価格とは、北米のプロパン輸出価格を指します。なお、+105(\$)は北米からの調達経費を指します。

※TTSとは、月平均の円ドル為替レート(TTS)を指します。

- 原料費調整単価(円/m³) = (当月対象平均原料価格 - 基準平均原料価格) ÷ 1,000 ÷ 0.482 (小数点第一位を四捨五入)
- 原料費調整額(円) = (基準従量料金 - 原料調整単価) × ガス使用量

「ガス料金について」

◎標準料金(原料調整料金)

- 基本料金 2,000円
- 従量料金 580円 ± 毎月の原料費調整単価
- 設備利用料 0円

- 2026年3月適用価格 基本料金2,000円 従量単価564円 設備利用料0円 7m3 5,948円(税別)
7m3当たり 標準料金 6,542円(税込)